

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
先端予防医療学

【研究課題名】

MedCity21 人間ドックで診断された肝疾患の臨床的特徴の検討

【研究期間】

倫理委員会承認後 ～ 2019年3月31日（西暦）

【研究の意義・目的】

● 目的

ウイルス性肝疾患が経口剤により、治癒・寛解を得られるようになり、また生活習慣病に関連した脂肪性肝炎の増加、若年女性での飲酒習慣の拡大等により、肝疾患原因の状況が変動しつつあります。人間ドックにおける発見率をはじめとした臨床的特徴の詳細な報告は乏しく、その実態調査および危険因子の後方視的探索を目的として研究を行います。

● 意義

MedCity21 受診者の約 25%に肝機能異常を認めます。現在、肝機能異常のほとんどは生活習慣病に関連する脂肪肝が原因と考えられますが、その特徴や他の生活習慣病との関連性について大まかには指摘されていますが、詳細な報告は少ない状況です。特に肝臓における脂肪量との関連についての報告はなく、大阪、阿倍野地区の人間ドックにおける肝疾患実態調査および新規の脂肪肝病態生理の研究という点で今後の肝疾患診療に貢献し得る大変有意義な研究と考えています。

【研究の方法】

● 観察研究

2014年7月1日～2018年3月31日にMedCity21での人間ドックを受診された方の肝機能に関するデータを使用させて頂き、臨床研究を実施致します。使用させて頂くデータは身長、体重、既往歴、常用薬などの背景因子や、血液生化学データ、腹部エコー等の生理学検査所見などのカルテ上に記載されているデータです（観察研究）。脂肪肝と生活習慣病関連項目とを比較検討し、危険因子を探索します。また、肝疾患の発見率に関する実態調査を行います。

【研究組織】

研究代表者

大阪市立大学医学部附属病院 先端予防医療部附属クリニック MedCity21

森川 浩安

分担者

大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵内科

河田 則文、田守 昭博、村上 善基、榎本 大、打田 佐和子、萩原 淳司

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 森川 浩安

住所 大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 あべのハルカス 21F

TEL 06-6624-4010

FAX 06-6624-8212